



気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

《公式ホームページ》<http://kesenuma-shakyo.jp/>

《スマートフォン用QRコード》

スマホをお持ちの方は、こちらからホームページを見ることができます。



本所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail: karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail: moto-sha@kind.ocn.ne.jp



気仙沼市社協キャラクター
あかりちゃん

福祉の未来を明るく照らす【あかりちゃん】です。
手に持っているハート(幸せ)をみんなに配ります。
みなさん、どうぞ可愛がってくださいね☆

お待たせしました!

オリジナルマスコット キャラクター決定!!

本会を「地域の皆さんにもっと知ってもらいたい!」「身近に感じてってもらいたい!」という思いと、更なる地域福祉の推進を図るため、地域の皆さんに愛されるようなマスコットキャラクターデザインを募集したところ、市内外から66点の応募がありました。

ご応募いただきました皆様!たくさんの素敵なデザインありがとうございました!!

これから、本会の広報担当として、社協だよりやホームページなど、様々な場面に登場予定ですので、よろしくお願ひします。

～決定までの流れ～

市社協全職員による一次審査を行い、10作品が選ばれました。その後、11月24日に市社協理事等による最終審査会にて10作品の中から、伊藤理乃様(石巻市)デザインの【あかりちゃん】に決定しました。



令和3年度 歳末たすけあい募金による配分についてのお知らせ

今年度も市民の皆様からたくさんの善意をお寄せいただき、心より感謝いたします。

子どもから高齢者までの幅広い分野に対して、地域での交流を深める事業や、地域の課題解決に向けた活動に取り組みられるよう配分することとしております。

なお、皆様からご協力いただきました募金総額につきましては、改めて本紙面でご報告させていただきます。



令和3年度配分の内容

個別配分

- ・在宅長期寝たきり等
要介護世帯
- ・長期入院者
(市内の病院に1年以上
入院されている方)



福祉団体等及び福祉活動への配分

- ・地区社会福祉協議会活動
- ・障害者福祉施設及び事業所等交流活動
- ・新入学児童への安心・安全の支援事業
- ・障害・母子等福祉団体、家族会
等事業
- ・子育て支援事業



宮城県共同募金会 赤い羽根共同募金

地域の課題解決 「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業

宮城県共同募金会では、従来の10月1日から12月31日までの共同募金運動期間を3月末日まで延長し、地域の課題解決に取り組むための活動費を、エントリーした団体が主体となって、個人や企業に自らの活動を伝えながら募金を呼びかける「みやぎチャレンジプロジェクト」を進めています。

気仙沼市内からは、今回紹介の4団体がエントリーしています。



一般社団法人 気仙沼あそびばーの会

11年目の子どもの遊ぶ場を
続けたい！

〒988-0263
気仙沼市本吉町洞沢133
Tel.48-5564



一般社団法人 プレーワーカーズ

「遊び」の貧困に
立ち向かいたい！

〒988-0825
気仙沼市田尻沢190-3
Tel.022-397-7507
※法人代表住所は名取市です



一般社団法人かもみ〜

気仙沼駅前地区を障がい者
そしてすべての住民が
生き生きと暮らせるまちにしたい！

〒988-0077
気仙沼市古町3-3-7
Tel.28-9968



一般社団法人 フリースペースつなぎ

子ども・若者が安心して学べる
居場所を目指して！

〒988-0183
気仙沼市赤岩泥ノ木19-1
Tel.28-9181

応援よろしくお願いします

このプロジェクトについて詳しく知りたい方、活動を応援したい方は、宮城県共同募金会のホームページでご覧になっていただくか、それぞれの窓口まで直接ご連絡をお願いします。



社会福祉法人宮城県共同募金会ホームページ
akaihane-miyagi.or.jp



～みんながふれあい支えあって
自分らしく暮らせる地域づくり～

各地区社協 住民懇談会の様子

上地区社協住民懇談会

令和3年9月25日、駅前コミュニティセンターにおいて「健康セミナーと住民懇談会」を開催しました。当日は気仙沼市地域包括ケア推進課から講師を迎えて、各団体が行っているフレイル予防活動などについてアドバイスを頂きました。

上地区社協圏域は高齢化率が高いことから、食生活改善、引きこもり対策等に取り組んできました。小山会長は、「高齢になっても出来ることをやるのが大切。今日のお話を活動に活かしていきたい。」と話されていました。



◎◎◎◎ こんなお話がありました ◎◎◎◎

- 活動が行き詰っているのでアドバイスを頂きたい。
→市では「教えて知って応援団」という講師の紹介や物品の貸出について掲載している資料を配布しているのでそちらをぜひ活用してほしい。
- 私の行政区では人口の50%が高齢者で上地区で1番高い。活動はコロナで断念している。
- 集まることが健康につながる。→何でも良いので集まるのが大事。「ゆるーいつながり」で進めることが長く続ける秘訣。

鹿折地区社協住民懇談会

令和3年12月2日やすらぎにおいて、鹿折地区住民懇談会を開催しました。

第1部では、地域支え合い推進員から地域での活動を紹介した後、参加者から各地区の取組みのお話がありました。第2部では、令和2年10月に設立した鹿折こども見守り隊の活動について、1年間を振り返り、今後について話し合いが行われました。



◎◎◎◎◎◎ こんなお話がありました ◎◎◎◎◎◎

- 地区内のお茶会に男性の参加はないが、高齢でも現役で海の仕事に携わっている方がいる。
- 地区内でウォーキングを行った。天気にも恵まれて大変良かった。
- 防災訓練、炊き出しの訓練を行った。地区の参加者も大変多かった。
- こども見守り隊は、地域全体で行っているため、とても良い。
- 見守り隊のユニフォームを着用して、通勤している。

津谷地区社協地域懇談会

令和3年12月津谷地区内の4地域で地域懇談会を開催しました。懇談会では、地域の現状や支え合いの地域づくりに向けて参加者から様々なお話がありました。

津谷地区では6つの地区ごとに地域懇談会を開催しています。



◎◎ こんなお話がありました ◎◎

- 高齢化により一人暮らしが増え、特に気になる方には目配り、気配りを大切にしている。
- 災害時の移動手段や避難道路など避難訓練の重要性。
- 新型コロナウイルスの影響で地域の行事等がほとんど開催されていない。
- 空き家が多くなってきている。防犯強化として、文書配布時に気にかけている。
- こども達への地域での見守り体制の充実。



暮らしの中に支え合い

気仙沼市生活支援体制整備事業 令和3年度地域支え合いセミナー

令和3年12月4日、市民福祉センター「やすらぎ」において、地域支え合いセミナーを開催しました。今回のセミナーは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、参加地区を分けて午前と午後の2回行い、延べ58名の参加をいただきました。



はじめに「今、求められている地域の支え合いー生活支援体制整備事業推進で住民のありたい姿実現しようー」をテーマに、東北子ども福祉専門学院 副学院長の大坂純先生から、講演をいただきました。大坂先生は、高齢化と人口減少、感染症による社会的孤立が課題であると指摘。特に健康やコミュニティ活動が影響を受ける中、新しい生活様式を大坂 純先生 踏まえて、工夫している活動の紹介等がありました。

また、普段の地域活動には様々な意味と工夫があり、それを伝えることで、参加意欲の向上や継続、理解者の増、活動の充実に繋がることから、新しい生活様式でも「お互いさまの支え合いで、自分らしく暮らしたいという願いを叶えよう」と締めくくりました。



その後、市内の2団体と本会地域支え合い推進員から活動発表があり、コーディネーターの宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局（宮城県社協）の佐藤さんからのコメントのほか、大坂先生から講評をいただきました。

最後に気仙沼市地域包括ケア推進課から交流サロンについての情報提供がありました。

内 容

1. 講演
テーマ「今、求められている地域の支え合いー生活支援体制整備事業推進で住民のありたい姿実現しようー」
2. 活動発表「コロナ禍でも、身近なつながり・支え合い」
 - (1) 東中才2区ひだまりの会ラジオ体操
 - (2) こぶつきの森の会
 - (3) 地域支え合い推進員の活動
3. 情報提供「交流サロン事業について」
気仙沼市地域包括ケア推進課

第2層地域支え合い推進員活動報告

令和3年4月より、16地区社協圏域ごとに第2層地域支え合い推進員9名が配置されました。

今年度の活動として、地区活動（老人クラブ、交流サロン、支え合いの自主活動等）に参加させていただき、現在の活動や支え合い活動の重要性を伝えながら、状況把握や 藤村由喜推進員 広報等での活動紹介、また、新たな集う場に向けた情報提供や、話し合いの場づくりの支援を行いました。地区からの相談等にも対応しています。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、継続して地区社協や地域支え合い協力員・住民の皆様と一緒に地域づくりを推進していきます。

【コーディネーター佐藤さんからのコメント】

コロナ禍で地区訪問が出来ない間は、他市町でも気仙沼の推進員と同様に、今後の計画づくりや電話での情報把握など行っていました。地域の繋がりが継続できるようこれからも頑張ってください。



藤村由喜推進員

令和3年度現在までの活動状況

・ 資源の把握





仲間といっしょに健康づくり

東中才二区ひだまりの会

～夢や希望を声に出して笑い合い、話し合い、地域の方々と共有します～

令和3年4月から東中才二区ひだまりの会の有志7名でラジオ体操をスタートしました。水、金の週2回、東中才二区の公園で開催しています。午前9時30分に集合し、CDデッキから流れる音楽に合わせてストレッチに始まり、ラジオ体操第1、第2を行います。



熊谷鉦子さん

その後の公園内の東屋でのおしゃべりも楽しみの一つです。育てている花や家庭菜園の話や、参加者の中には、介護をしている男性もいるので、介護の仕方や注意点を女性目線で伝えたりしています。顔を合わせることで、お互いの近況もわかり合えます。体操を休んだ人がいる時には、後で自宅に寄ったり、電話する時もあります。



ラジオ体操の様子

今、自粛から自治会行事も再び始まっています。グラウンドゴルフ体験やフレイル予防講座が行われています。地域活動に参加し、話し合い、笑い合い、仲間で行うことが元気の源です。



青空のもと東屋での交流タイム

【コーディネーター佐藤さんからのコメント】

体操に来ることで、運動や社会参加だけでなく、介護者支援にもなっている。大変素晴らしい活動であり継続して欲しいです。

おうちにいっても地域の仲間が会いにくよ

～笑顔の花咲く支え合いの地域～

こぶつきの森の会

「こぶつきの森の会」は平成27年4月にボランティア団体として発足しました。東日本大震災の被災により転居された方々や地域高齢者の安心した生活につながる居場所を運営しています。現在は会員20名で、会員の特技を活かしながら高齢者サロンと配食サービスを行っています。



熊谷恵理子さん



配食サービスを始めたいきっかけは、様々な理由で公会堂に来られない方がいることに気づき、「来られないのであれば、自分たちが行けばいいのではないか」という会員の気付きからです。

活動では、「ふれあい」を大切に個々の日常生活の変化に気づき、必要であれば見守りの頻度を多くします。また、生活の相談や家族からのお話も伺っています。誰かの役に立っているという「やりがい」が自分たちの健康づくりにもつながっています。

【コーディネーター佐藤さんからのコメント】

活動のきっかけは被災者との交流だったんですね。そこから活動を重ね、自分たちでできることを考え取り組む姿勢が素晴らしいと思います。

【コーディネーター佐藤さんからのコメント】

活動のきっかけは被災者との交流だったんですね。そこから活動を重ね、自分たちでできることを考え取り組む姿勢が素晴らしいと思います。

大坂先生からの講評

- ◇ 2団体の発表は、暮らしに活動が溶け込んでいる素晴らしい発表でした。自分たちの活動の意味を見つけ、さらにそれを広げている。このような地域なら、住み続けたいと皆が思うはずでしょう。
- ◇ 地域支え合い推進員の活動発表は、基本的に忠実に実行していることが垣間見えました。住民の皆さんも推進員の活動や役割をよく理解し、一緒に地域づくりを進めていくことが重要です。



地区社協活動紹介

「唐桑福祉アート展」

12月5日(日)から7日(火)の3日間、唐桑保健福祉センター「燦さん館」を会場に「唐桑福祉アート展」が開催されました。

「展示コーナー」では、福祉施設入居者の方々の作品や小中学生の書道、絵画作品等が一堂に展示され、力作揃いの作品に多くの方々が見入っていました。

また、「特別展」として、障がいのある方のアートをテーマにしている「るんびにい美術館」(岩手県花巻市)から、東京パラリンピックの閉会式で作品が紹介された八重樫道代さんほか3名の絵画も展示され、会場に華を添えました。



屋外では、福祉施設等のクッキーやパン、野菜、木工品を販売した初日限定の「ミニミニマルシェ」も来場者の人気を集めていました。

主催した唐桑地区社会福祉協議会の吉田茂会長は、「コロナウイルスの影響から、毎年開催していた福祉まつりの開催が難しく、地域住民の皆様方とのつながりを切らさないための代替行事を検討し開催しました。初めての試みでしたが、関係者皆様のご理解とご協力により、多くの方々にご来場いただきうれしく思っています。」と話されました。



ボランティア講座開催のご案内

本会では、コロナ禍でも地域のつながりを絶やさず、支えあいの輪を広めることを目的にボランティア講座を開催します。

これからボランティア活動を始めたい方、仲間づくりをしたい方など、多くの市民の皆さんの参加をお待ちしております！

詳細は今後、本会ホームページ、地元新聞等で広くお知らせします。

内容：見守りボランティア講座

日時：3月5日(土)

午後1時～午後3時

場所：気仙沼市市民福祉センター
「やすらぎ」(錦町1-2-1)

お申込み
お問合せ

気仙沼市社会福祉協議会
電話 22-0709



生活支援型食事サービス事業 令和4年度 調理委託業者の募集

気仙沼市社会福祉協議会では、気仙沼市からの委託を受け、見守りや安否確認が必要な一人暮らし高齢者等を対象に「配食サービス」を実施しています。このたび、令和4年度の調理業者を募集しますので、希望される業者は2月15日(火)までにご連絡ください。

《お問合せ》気仙沼市社会福祉協議会 (電話22-0709)

内容 高齢者向け弁当

地域 気仙沼市内全域

委託料 1食500円(税込)

※利用者宅配達は配達加算があります。

期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日



地域	曜日	時間	食数(1回)	配達先	
気仙沼	火・木・金	①10:30~12:00	①1~5食	①1~5か所	利用者宅(応相談)
		②15:00~16:30	②1~5食	②1~5か所	
唐桑	火・金	10:15	1~5食	1か所	社協 唐桑支所
本吉	木	10:30	10~20食	1か所	社協 本吉支所
大島	火・木・金	14:30~16:00	1~5食	1~5か所	利用者宅(応相談)

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金等特例貸付について

令和4年3月末まで申込受付期間が延長されました

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減収や離職された方が対象です。

—— 緊急小口資金特例貸付 ——

- 貸付額：20万円以内
- 据置期間：1年以内
- 返済期間：2年以内

—— 総合支援資金特例貸付 ——

- 貸付額：単身世帯 最大45万円
2人以上世帯 最大60万円
- 据置期間：1年以内
- 返済期間：10年以内

詳細は、気仙沼市社会福祉協議会 (電話 22-0709) までお問合せください。

宮城 令和4年度 学園生募集中! いきいき学園

◆対象…県内に居住の60歳以上の方

◆場所…気仙沼中央公民館

◆募集人員…40人

◆学習日…年間21日(2学年制)

◆内容…生きがいと健康づくりを目指し、地域社会に貢献できる人材として必要な内容を身につけます。

◆募集期間…現在募集中～2月28日(月) 消印有効

◆申込書…気仙沼市社会福祉協議会、気仙沼市社会福祉課及び気仙沼中央公民館に備え付けているほか、宮城県社協ホームページからも入手できます。

◆申込み・問合せ…宮城県社会福祉協議会いきがい健康課 電話 022-225-8477

最新施設の
素敵な環境で
受講できます!



BRTの
南気仙沼駅が近いので、
車がなくても安心です!



入学金 5,000円
受講料 年間 20,000円



今年も 続けよう地域の活動 守ろう地域のつながり



今なお続いている新型コロナウイルス感染症により、従来の活動が制限され、地域で集まることが難しくなる中で、「つながり」の必要性が求められています。
 今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と地域活動の両立をはかりながら取り組んでいる市内の活動例などを紹介します。
ピンチはチャンス！ コロナに負けない地域を目指しましょう☆

地域住民の集う場や交流はつながりづくりに重要な役割を果たしています。
 日ごろの活動により住民同士がつながることで、孤立の防止や困りごとの発見、災害発生時のスムーズな助け合いなど、様々な場面で大きな効果が期待されます。



① 集い型

比較的「密」になりにくい野外での活動が多く行われています。



ラジオ体操



グラウンドゴルフ



青空喫茶

ほかにも、ウォーキングやフレイル（虚弱）予防の体操など

② 番外編

③ 訪問型

発想の転換と少しの工夫でつながりを切らさない活動に注目です！



ながら見守り

子ども達だけでなく、地域の安心安全にもつながります。



回覧板や広報配布を利用した声掛け見守り

住民同士がつながるきっかけとなる他、異変に気付いた時には、早期の支援につながることができます。



つどい型の地域行事を訪問型に変更

「集まれないなら」と訪問型にしたことで、見守りや安否確認にもなっています。また、本人にとっては安心につながります。

「感染しない」「感染させない」ために
感染防止の3つの基本



「鼻出し着用をしない」「必要以上にマスクを触らない」など、正しいマスクの着用を徹底しましょう。



手洗い・手指消毒を徹底しましょう。手洗いは指先から手首まで丁寧に洗いましょう。



人との距離は出来るだけ2m確保しましょう。会話をする時は、可能な限り正面は避けましょう。

市社協も皆さんと一緒に地域づくりやつながりづくりに取り組みます!!お気軽にご相談くださいね☆

